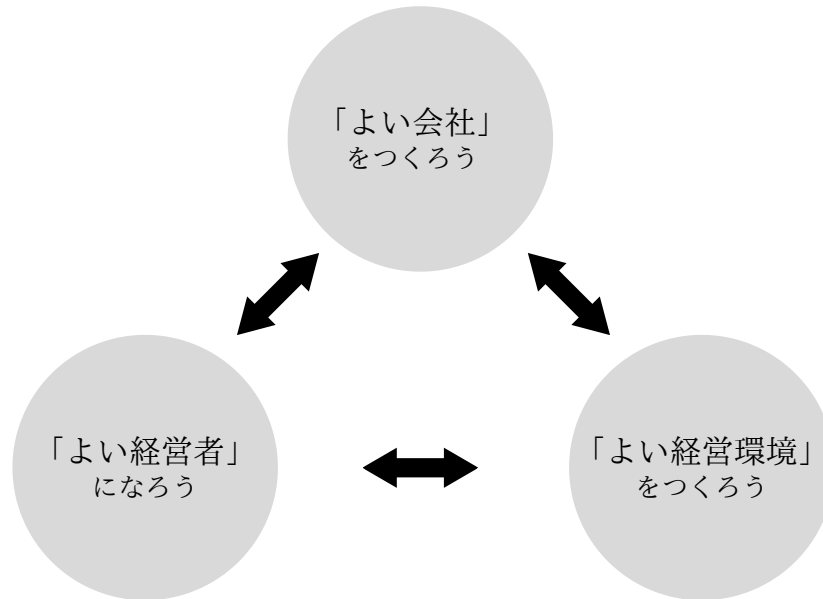


OUR PHILOSOPHY

企業に経営理念があるように、
同友会にも同友会運動の歴史の蓄積で培われてきた同友会理念があります。

その内容は、会の目的、性格、基本となる考え方の総称で、
「同友会三つの目的」「自主・民主・連帯の精神」「国民や地域と共に歩む中小企業」の三つです。



▼同友会三つの目的

- 【1】同友会は、ひろく会員の知識を交流して企業の自主的近代化と強靱な経営体質をつくることをめざします。
- 【2】同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。
- 【3】同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業を取り巻く、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な反映をめざします。

▼自主・民主・連帯の精神

- 【1】自主というのは二つの意味を持っています。一つは、同友会はほかのいかなるところからも干渉や支配をうけないということです。もう一つは、入会も退会もまた行事への参加についても会員経営者の自主性を大切にすることです。つまり、会の主体性を守ることと、会員の自由選択権を保障することです。
- 【2】民主にも二つの意味があります。一つは、会の運営を会員の要求や意見に基づいて行い、ボス支配がおこらないようにすることです。もう一つの意味は、民主的なものの考え方を積極的に広めていく、とりわけ企業内で実践していこうということです。このことによって組織の自浄力は強化され、発展が保障されます。
- 【3】連帯は、会員同士の腹を割った裸でのたすけあいと、あらゆる階層の人たちと手を取りあっていく、外へ向けての融合、協力、団結をすすめる意味とがあります。特に会内においては、経営者として全人格的完成をめざしての相互の高まりあいから生まれる深い信頼関係（高い次元でのあてにしあてにされる関係）が連帯の中身となります。